

平成19年1月1日

# 「本宮市」誕生

新しい歴史の第一歩が踏み出されました



開庁式で市民や来賓を前に式辞を述べる岡部本宮市長職務執行者

次の世代を担う子どもたちに

「明るく豊かなふるさと」を



本宮市長職務執行者

岡部善宜

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、新しい市「本宮市」が誕生いたしました。

本宮町と白沢村が一つとなり、32,000市民の大きな夢と希望を担い、新市の将来像である「水と緑と心が結び合う、未来に輝くまちづくり」の実現のため、豊かな自然を守り、それぞれの地域の特徴を生かしながら、皆さんとともに夢の実現に向けて実践しなければならぬと考えています。

人が輝くところに「まち」の輝きがあり、人が幸せを感じるところに「まち」の豊かさがあると申します。

新市におきましても、少子高齢化や地方分権社会に対応できる行政基盤を確立しながら、活力のある「まち」を造っていくとともに、次の世代を担う子どもたちに「明るく豊かなふるさと」を引き継ぐため、最大限の努力をしまいたいと思ひます。

皆様には、新しい本宮市の限らない発展のため、なお一層のご理解とご協力をお願いいたしまして、ごあいさついたします。

平成19年1月1日、本宮町と白沢村が合併し、「本宮市」が誕生しました。  
人口、31,754人（平成19年1月1日現在）、面積87.94平方キロメートルの「本宮市」として新たな歴史を刻んでいくこととなります。  
これまで2町村が築いてきた歴史と文化、産業を生かしながら、市民の皆さんとともに、「水と緑と心が結び合う、未来に輝くまちづくり」を目指していきます。